

平成26年度 調査研究事業

平成26年度 PTA活動に関する
調査結果報告書

平成27年9月

鳥取県PTA協議会

ごあいさつ

鳥取県PTA協議会
会長 山代 豊

皆様には日頃より鳥取県PTA協議会の活動に、ご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

当会では、例年総務委員会により鳥取県のPTA協議会会員に対しアンケート調査を行っています。平成26年度はPTA活動に関する調査を行いました。子どもたちを取り巻く環境をより良くしていくためには、各単位PTAの活動の活性化が重要であると考えています。今回のアンケートでは「ケータイ・スマホの問題」、「いじめの問題」、「地域との連携」、「土曜授業」、「PTAの運営」など、現在各保護者・PTAが抱えている問題や疑問に対するアンケートとして取り上げました。各校の多彩な取り組みの一部ではありますが、掲載することができました。単位PTAの活動のヒントになればと思います。当会ではその活動を広く広報する目的でホームページを立ち上げています。残念ながら20～40%のPTA会長はご覧になったことがないとの回答でした。是非ホームページ(<http://tottori-pta.net/>)を隔々までご覧になっていただき当会の活動に更なるご理解を頂きたいと思えます。

さて当会が所属する中国ブロックPTA協議会では平成28年度、鳥取県東部を会場に第46回日本PTA中国ブロック研究大会とっとり大会を開催することとなりました。今年度の当会のスローガンである「みんな輝け☆つながれ未来！～心のふるさと育てよう～」を大会スローガンとして平成28年11月12日に、とりぎん文化会館梨花ホール(鳥取県立県民文化会館)を会場に開催される予定となっています。家庭・学校・地域・社会とのつながり、過去から未来へのつながりを活かし、そして新たに創っていく私たちの取り組みが、子どもたちの輝かしい未来につながり、子どもたちの豊かな心と生きる力の源となる「心のふるさと」を育てる活動となるよう皆様の尚一層のご協力をお願いいたします。

平成27年9月

平成26年度PTA活動に関する調査結果のまとめ

平成27年9月 県P協 総務委員会

1 調査概要

県PTA協議会では、子どもたちを取り巻く環境をより良くしていくためには、各単位PTAの活動の活性化が重要と考えています。このたび、その一助として活用していただくため、活動調査を実施することといたしました。

(1) 調査対象

鳥取県PTA協議会会員の小中学校193校

(2) 調査期間

平成26年12月5日～平成26年12月19日

(3) 調査方法

調査対象の各単位PTA会長にアンケート用紙を送付し、郵送、ファクシミリ、電子メールにより回答

2 調査結果

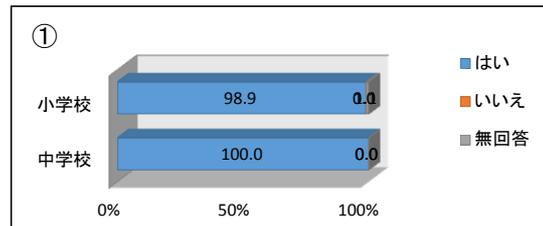
(1) 学校区分と回収率

選択項目	総計		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
東部	52	27.2%	36	27.7%	16	26.2%
中部	25	13.1%	23	17.7%	2	3.3%
西部	49	25.7%	33	25.4%	16	26.2%
回答計	126	66.0%	92	70.8%	34	55.7%
無回答	65	34.0%	38	29.2%	27	44.3%
合計	191	100.0%	130	100.0%	61	100.0%

※小中一貫校については中学校で集計

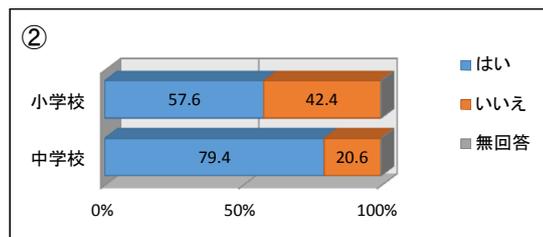
① 県P協からの連絡、資料

選択項目	総計		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	125	99.2%	91	98.9%	34	100.0%
いいえ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	0.8%	1	1.1%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



② 県P協のホームページ

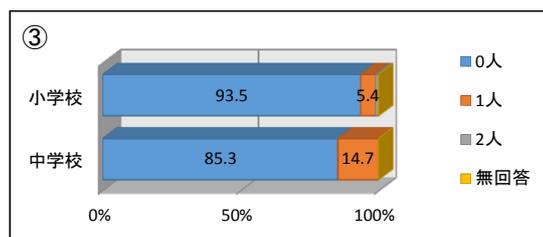
選択項目	総計		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	80	63.5%	53	57.6%	27	79.4%
いいえ	46	36.5%	39	42.4%	7	20.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



・県P協からの文書等の連絡はほぼ届いている。
・ホームページについては見たことのない単位PTA会長が20～40%あり、PR不足が否めない。

③ PTA事務員数

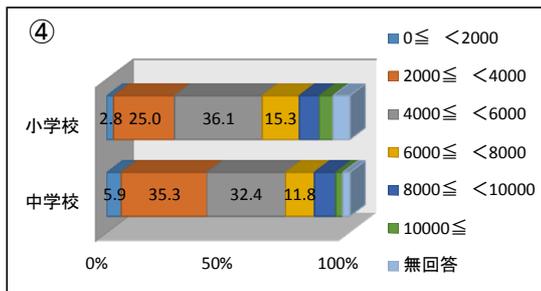
選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
0人	115	91.3%	86	93.5%	29	85.3%
1人	10	7.9%	5	5.4%	5	14.7%
2人	1	0.8%	1	1.1%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



PTA雇用事務については鳥取市の中学校で雇用している。

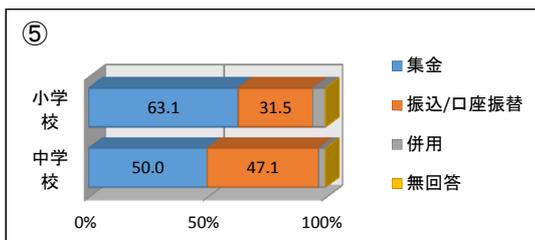
④PTA会費

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
0 ≤ <2000	6	4.8%	4	4.3%	2	5.9%
2000 ≤ <4000	49	38.9%	37	40.2%	12	35.3%
4000 ≤ <6000	39	31.0%	28	30.4%	11	32.4%
6000 ≤ <8000	16	12.7%	12	13.0%	4	11.8%
8000 ≤ <10000	8	6.3%	5	5.4%	3	8.8%
10000 ≤	3	2.4%	2	2.2%	1	2.9%
無回答	5	4.0%	4	4.3%	1	2.9%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%

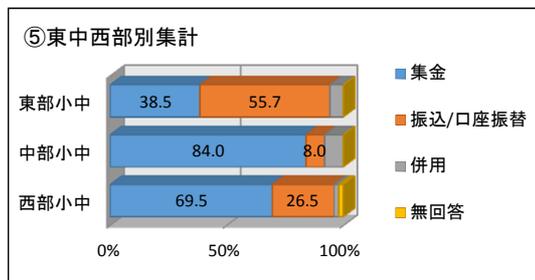


⑤会費徴収方法

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
集金	75	59.5%	58	63.0%	17	50.0%
振込/口座振替	45	35.7%	29	31.5%	16	47.1%
併用	6	4.8%	5	5.4%	1	2.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%

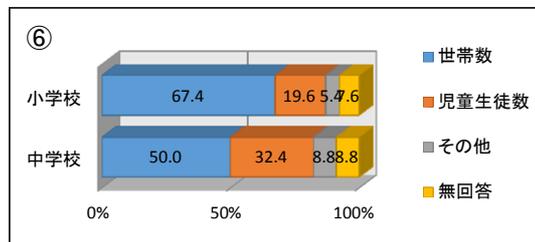


選択項目	東部小中		中部小中		西部小中	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
集金	20	38.5%	21	84.0%	34	69.4%
振込/口座振替	29	55.8%	2	8.0%	13	26.5%
併用	3	5.8%	2	8.0%	1	2.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%
合計	52	100.0%	25	100.0%	49	100.0%



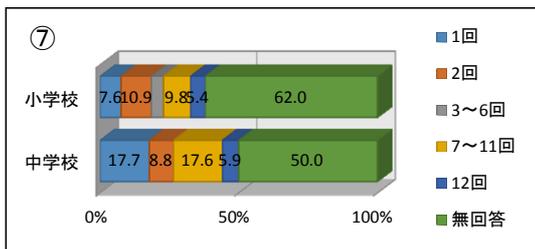
⑥徴収は

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
世帯数	79	62.7%	62	67.4%	17	50.0%
児童生徒数	29	23.0%	18	19.6%	11	32.4%
その他	8	6.3%	5	5.4%	3	8.8%
無回答	10	7.9%	7	7.6%	3	8.8%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



⑦徴収回数

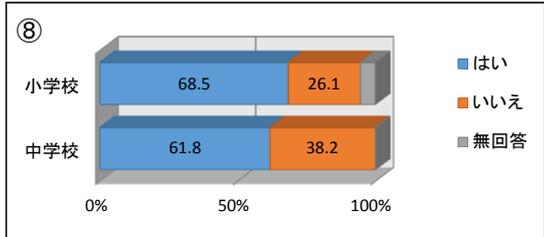
選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
1回	13	10.3%	7	7.6%	6	17.6%
2回	13	10.3%	10	10.9%	3	8.8%
3~6回	4	3.2%	4	4.3%	0	0.0%
7~11回	15	11.9%	9	9.8%	6	17.6%
12回	7	5.6%	5	5.4%	2	5.9%
無回答	74	58.7%	57	62.0%	17	50.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



・会費は、小・中学校ともに2,000円以上4,000円未満(35~40%)が最も多く、次いで4,000円以上6,000円未満(30~35%)が多くなっている。
 ・徴収方法は、小学校では63%、中学校でも50%が集金となっており、特に中西部が多くなっている。
 ・徴収対象は、兄弟・姉妹が複数在籍している小学校では世帯数(徴収)の割合が中学校に比べ多い。
 ・徴収回数は、一括、学期毎、月毎に徴収を決めている様子が見える。

⑧携帯緊急メールがある

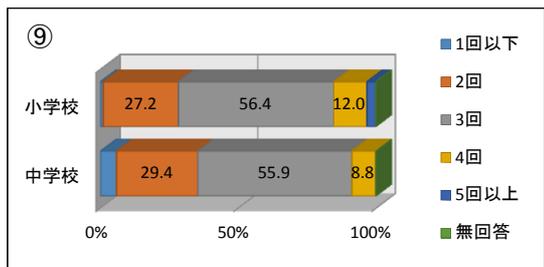
選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	84	66.7%	63	68.5%	21	61.8%
いいえ	37	29.4%	24	26.1%	13	38.2%
無回答	5	4.0%	5	5.4%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



半数を超える学校に携帯緊急メールがある。

⑨PTA広報紙発行回数

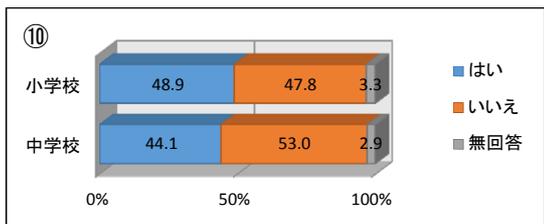
選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
1回以下	3	2.4%	1	1.1%	2	5.9%
2回	35	27.8%	25	27.2%	10	29.4%
3回	71	56.3%	52	56.5%	19	55.9%
4回	14	11.1%	11	12.0%	3	8.8%
5回以上	3	2.4%	3	3.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



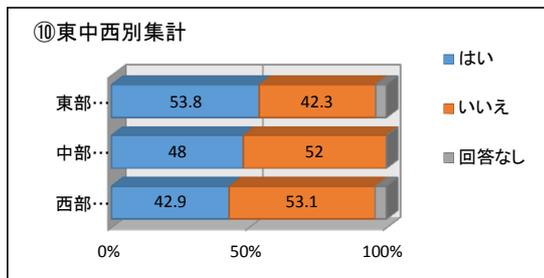
発行していないPTAも1校あったが、年2～3回発行が小中学校ともに約83～85%を占めている。

⑩任意加入の周知をしている

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	60	47.6%	45	48.9%	15	44.1%
いいえ	62	49.2%	44	47.8%	18	52.9%
無回答	4	3.2%	3	3.3%	1	2.9%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



選択項目	東部小中		中部小中		西部小中	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	28	53.8%	12	48.0%	21	42.9%
いいえ	22	42.3%	13	52.0%	26	53.1%
無回答	2	3.8%	0	0.0%	2	4.1%
合計	52	100.0%	25	100.0%	49	100.0%



《小学校》

【周知している】
・新入生保護者説明会の際、会長が口頭で説明（6）
・入学式後、会長が口頭で説明（9）
・総会時に会長が口頭で説明（18）
・各家庭に説明文書を配布（年度末、4月）（9）

《中学校》

【周知している】
・新入生保護者説明会の際、会長が口頭で説明（2）
・入学式後、会長が口頭で説明（5）
・総会時に会長が口頭で説明（4）
・各家庭に説明文書を配布（4月）（2）

【周知していない】

・原則全員加入（17）
・自動入会が慣例（問題になっていない）（13）
・教育振興会として地域社会と連携した組織
・加入減となり組織運営に困難が予想される

【周知していない】

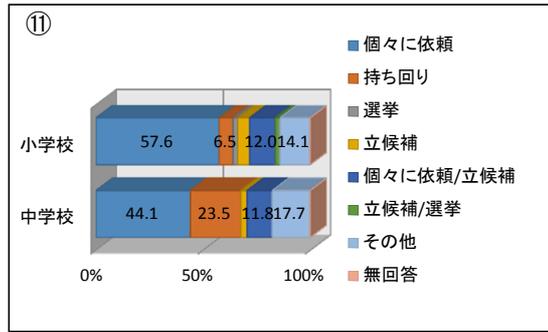
・原則全員加入（5）
・自動入会が慣例になっている（問題になっていない）（9）
・周知した時の対処方法が確立していない
・加入減となり組織運営に困難が予想される（2）

※（ ）内は同意見数

・小中学校ともに新入生保護者説明会や入学式後にPTA会長が口頭で説明し、理解と協力を求めていることがうかがえる。
 ・現在特に問題となっていないPTAでは、「原則全員加入」「自動加入が慣例となっている」との回答が多かった。
 ・強制加入による申し立ても県内で起こっており、任意加入を前提とした上でのPTAの在り方を原点から見直し、存在意義を確認しながら活動のあり方、目的達成の効果的手段を県全体で考えていく必要がある。

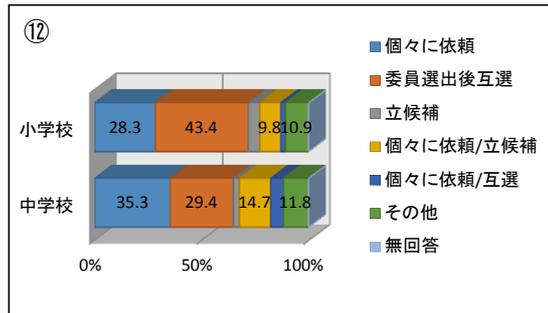
⑪役員選出方法(会長、副会長)

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
個々に依頼	68	54.0%	53	57.6%	15	44.1%
持ち回り	14	11.1%	6	6.5%	8	23.5%
選挙	2	1.6%	2	2.2%	0	0.0%
立候補	6	4.8%	5	5.4%	1	2.9%
個々に依頼/立候補	15	11.9%	11	12.0%	4	11.8%
立候補/選挙	2	1.6%	2	2.2%	0	0.0%
その他	19	15.1%	13	14.1%	6	17.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



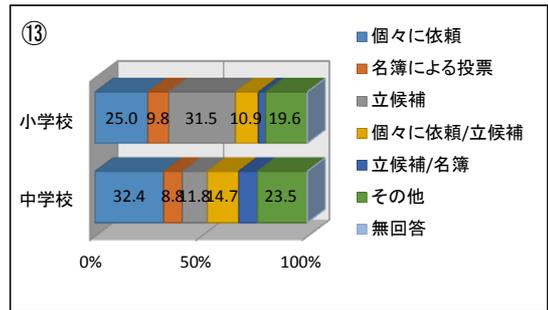
⑫役員選出方法(部長、委員長)

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
個々に依頼	38	30.2%	26	28.3%	12	35.3%
委員選出後互選	50	39.7%	40	43.5%	10	29.4%
立候補	6	4.8%	5	5.4%	1	2.9%
個々に依頼/立候補	14	11.1%	9	9.8%	5	14.7%
個々に依頼/互選	4	3.2%	2	2.2%	2	5.9%
その他	14	11.1%	10	10.9%	4	11.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



⑬役員選出方法(学級役員)

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
個々に依頼	34	27.0%	23	25.0%	11	32.4%
名簿による投票	12	9.5%	9	9.8%	3	8.8%
立候補	33	26.2%	29	31.5%	4	11.8%
個々に依頼/立候補	15	11.9%	10	10.9%	5	14.7%
立候補/名簿	6	4.8%	3	3.3%	3	8.8%
その他	26	20.6%	18	19.6%	8	23.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%

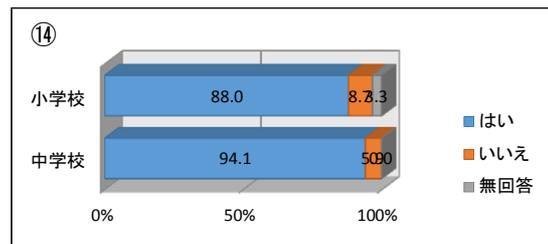


・会長・副会長については、「個々に依頼する」割合が高く、小学校では約58%、中学校では44%となっている。中学校では「学校持ち回り」が次いで約24%と高くなっていることが特徴的である。
 ・部長・委員長については、「委員選出後に互選」が小学校では約43%と、「個々に依頼」(約28%)を上回っている。中学校では「個々に依頼」が約35%となっており、一般の委員選出のハードルを低くすることがねらいと考えられる。
 ・学級役員については、立候補の割合が小学校では約32%と高くなっている。
 ・どの役になっても、させていただいているという心がけと、会員全員の協力・フォローと感謝の気持ちが、役員の満足度をアップし、活性化へとつながっていくと考える。

⑭PTA主催講演会を実施

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	113	89.7%	81	88.0%	32	94.1%
いいえ	10	7.9%	8	8.7%	2	5.9%
無回答	3	2.4%	3	3.3%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%

※講演会内容は末尾に掲載

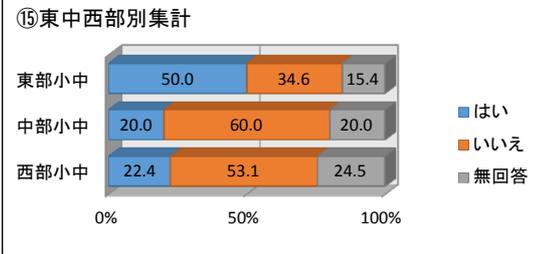
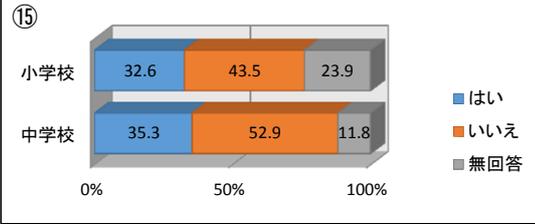


・人権教育、家庭教育、コミュニケーション、ネット関連と様々なテーマで講演会を開催している。
 ・参加型のワークショップを取り入れ、参加者の満足度を上げる研修会を企画しているPTAも多く見られる。
 ・ネット関連の講演会も多く、関心の高さがうかがえる。

⑮いじめに対する取り組みを実施

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	42	33.3%	30	32.6%	12	35.3%
いいえ	58	46.0%	40	43.5%	18	52.9%
無回答	26	20.6%	22	23.9%	4	11.8%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%

選択項目	東部小中		中部小中		西部小中	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	26	50.0%	5	20.0%	11	22.4%
いいえ	18	34.6%	15	60.0%	26	53.1%
無回答	8	15.4%	5	20.0%	12	24.5%
合計	52	100.0%	25	100.0%	49	100.0%



いじめに対する取り組み事例

《小学校》

【内容】
・中学校区での研修会（2）
・PTAボランティアが授業見学し現状を把握
・児童（保護者）アンケート（3）
・人権教育講演会（6）
・児童による運営委員会と合同で朝のあいさつ運動を実施(2)
・「十秒の愛の運動」の実施
・いじめ防止基本方針の策定
・PTA活動時に全員が名札をつけ、子ども、保護者間の繋がりを深めるような活動を実施
・学級懇談会、地区懇談会での情報共有（4）
・PTA役員、地域住民、学校教師による人権教育。生徒指導に関する情報交換会
・未然防止のため学校、家庭の連絡・連携に努めている
・学校とPTA執行部役員間で具体的事例に対して情報共有。その後のフォローに努めた
・学校が主に実施。PTAでは具体的に実施していない
【成果】
・小中一貫での取組としてPTA・子どもたちに啓発できる
・経過観察中
・子どもたちが心豊かになったと感じている
・少しずつ意識が向上している（4）
・保護者同士が繋がっていくことが大切であると確認できた
・研修会等、少しずつ参加人数が増えてきている
・今後講演会や研修会をしていく必要があると感じている
・成果はあまり感じられない

《中学校》

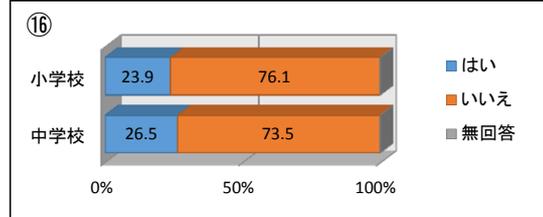
【内容】
・学校が作成した「いじめ防止基本方針」に基づいて取り組んでいる
・スクールカウンセラーによる保護者対象の研修会実施
・全校で自分の行動宣言を考え紙に書き、中学校の行動宣言として文化祭に提示。HPに掲載
・講演会、研修会の実施（3）
・先生と生徒。生徒会が頑張っている（自校や小学校に向いてあいさつ運動等）
・「学年を語る会」や「学級懇談会」で保護者、教師が子どもの情報交換をしていじめにつながる行為を未然防止に努めて
【成果】
・いじめを絶対させないという方針が全教員と全PTA会員に根付いている
・毎年定期的に行っている学校での「いじめ実態調査」でも意識が高くなり、実際に行動化できる生徒が増えている
・登校できなかった生徒の中に登校でき始めた生徒もいる
・保護者同士が連携を図り、子どもたちを見守り変化に気づくことができる
・PTA広報紙、人権だよりに参加報告をし、意識の高揚につとめている
・参加者が固定化されており、成果があったとは言えない

※（ ）内は同意見数

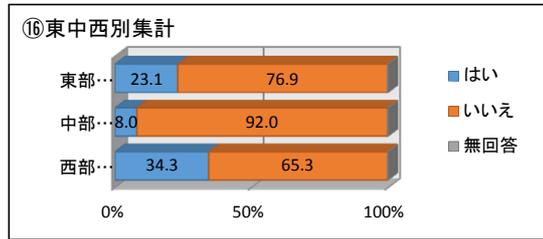
・PTAの取組としては、「いいえ」が小学校約44%、中学校53%と「はい」を上回っている。PTAとしてどう取り組んで良いのかわからないことが大きな要因か。
 ・取り組んでいるPTAの東中西別集計では、東部の半数が取り組んでいるという結果が出ている。
 ・取組内容としては、連携・情報共有とともに、小学校では十秒の愛運動やあいさつ運動等身近なところから顔の見える取組が進んでおり、中学校では生徒自身が主体的に取り組むことができるよう学校と協力して進めている。
 ・取組を行っているところでは少しずつではあるが子どもに変化の兆しが見え始めているとの記述が見られる。

⑩携帯、スマホに対するPTAルールがある

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	31	24.6%	22	23.9%	9	26.5%
いいえ	95	75.4%	70	76.1%	25	73.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



選択項目	東部小中		中部小中		西部小中	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	12	23.1%	2	8.0%	17	34.7%
いいえ	40	76.9%	23	92.0%	32	65.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	52	100.0%	25	100.0%	49	100.0%



ケータイ・スマホについてのPTAとしてのルール

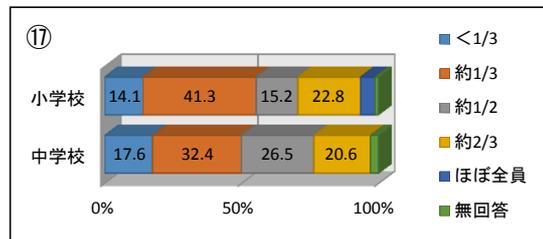
【小学校】	・基本持たない、持たせない（8）
	・買わない、貸さない
	・学校に持って行かない（3）
	・インターネットに接続のものはフィルタリングをかける
	・ノーメディアの推進（2）
	・ゲーム、TVの視聴は2時間以内を目安にしている
	・講演会、研修会の開催（2）
	・市P連の緊急アピールに準ずる（7）
【中学校】	・これから協議が必要と感じている。検討中（3）
	・基本持たない、持たせない（2）
	・PTA研修会でルールを決めた内容を各家庭に文書で配布
	・ノーテレビ、ノーメディアの取組や生徒、保護者への呼びかけ（2）
	・使用は21時までで（2）
	・市P連の緊急アピールに準ずる（2）
	・郡Pとして各家庭でケータイ・スマホのルールを作り呼びかけている
	・月に一回は保護者が使用状況をチェックする
・本当にケータイ・スマホが必要か保護者と子どもと一緒に考える	
・現在模索中	

※（ ）内は同意見数

・個々の家庭でルール作りを進める取組を進めているが、PTA全体として一律にルールを作ることが困難な状況があるためか「いいえ」が約74～76%ある。
 ・西部は、米子市P連が出している緊急アピールに準じた取組をしているPTAが多く、取組率が高くなっている。
 ・ケータイ・スマホについてはルールが「ある」と回答された中で、「基本持たない、持たせない」との記述が多い。
 ・中学校では「夜21時以降のネット利用を制限する」取組を行っているところが2PTAある。

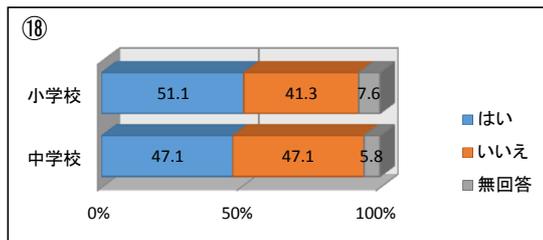
⑪学級懇談会出席者は学級のどれくらい

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
<1/3	19	15.1%	13	14.1%	6	17.6%
約1/3	49	38.9%	38	41.3%	11	32.4%
約1/2	23	18.3%	14	15.2%	9	26.5%
約2/3	28	22.2%	21	22.8%	7	20.6%
ほぼ全員	5	4.0%	5	5.4%	0	0.0%
無回答	2	1.6%	1	1.1%	1	2.9%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



⑫学級懇談会出席増への取り組みを実施

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	63	50.0%	47	51.1%	16	47.1%
いいえ	54	42.9%	38	41.3%	16	47.1%
無回答	9	7.1%	7	7.6%	2	5.9%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



取り組み事例

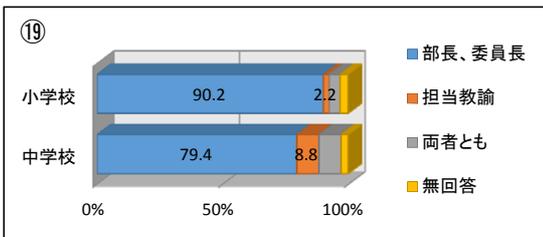
《小学校》	・声かけ(役員・保護者が口頭・電話・メール等) (30)
	・茶話会を開催 (4)
	・学校・学年・学級通信やホームページで案内 (7)
	・まちコミメールで前日に再案内
	・行事のタイムライン調整 (5)
	・テーマを事前調査、多様なテーマで開催 (3)
	・司会・記録を保護者がする
	・低学年の預かり
	・懇談会終了まで宿題をして待てる部屋と担当者を設定 (2)
・土日に参観日を設定し、その後懇談会	
《中学校》	・声かけ(役員・保護者が口頭・電話・メール等) (10)
	・学校・学年・学級通信やホームページで案内
	・開催1週間前に再案内
	・行事のタイムライン調整 (2)
	・土日に参観日を設定し、その後懇談会
	・テーマの工夫, PRの工夫

※()内は同意見数

・約51～55%は参加者が1/3と回答しているが、約43～47%は1/2以上の参加者があるとも言える。
 ・参加率アップへの取組は、危機感を感じている(参加率が低い)PTAは取り組みを進めているが、参加者が2/3以上のPTAは取組を特に行っていないとの回答が多い。
 ・取組としては声かけを行っているところが多く、開催案内も直前に再案内を行うなどの工夫をしている。また、行事のタイムラインの調整や休日開催を行っているところもある。

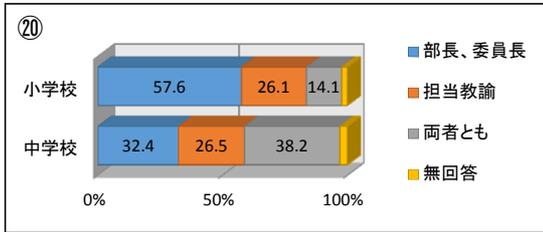
⑱ 部会、委員会の主導者

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
部長、委員長	110	87.3%	83	90.2%	27	79.4%
担当教諭	5	4.0%	2	2.2%	3	8.8%
両者とも	7	5.6%	4	4.3%	3	8.8%
無回答	4	3.2%	3	3.3%	1	2.9%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%

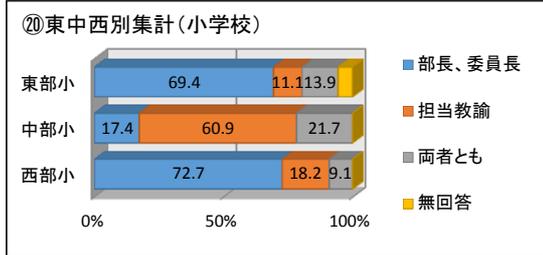


⑳ 部会、委員会の資料作成者

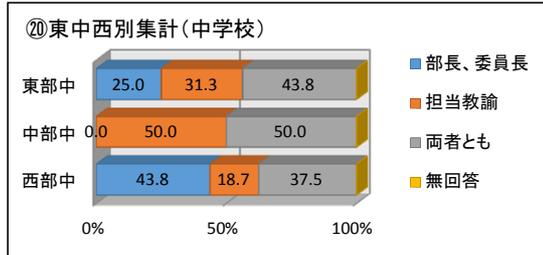
選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
部長、委員長	64	50.8%	53	57.6%	11	32.4%
担当教諭	33	26.2%	24	26.1%	9	26.5%
両者とも	26	20.6%	13	14.1%	13	38.2%
無回答	3	2.4%	2	2.2%	1	2.9%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



選択項目	東部小		中部小		西部小	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
部長、委員長	25	69.4%	4	17.4%	24	72.7%
担当教諭	4	11.1%	14	60.9%	6	18.2%
両者とも	5	13.9%	5	21.7%	3	9.1%
無回答	2	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
合計	36	100.0%	23	100.0%	33	100.0%



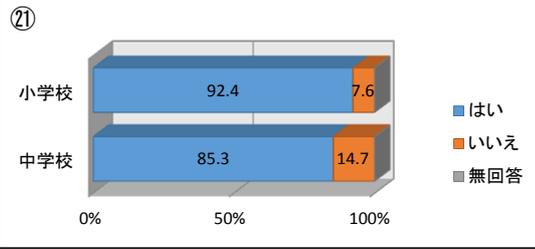
選択項目	東部中		中部中		西部中	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
部長、委員長	4	25.0%	0	0.0%	7	43.8%
担当教諭	5	31.3%	1	50.0%	3	18.8%
両者とも	7	43.8%	1	50.0%	6	37.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	16	100.0%	2	100.0%	16	100.0%



・部会・委員会は、ほぼPTA役員が主導して開催している。
 ・資料作成については26%が「担当教諭」が作成している実態があり、「両者とも」を合わせると小学校で約40%、中学校では約65%と教員の負担が大きくなっている。東中西別集計では、中部の小中学校で「担当教諭」の割合が突出している。
 ・学校現場での教員の多忙感が問題となっている状況を鑑みて、部会・委員会の引継方法等について県内での情報共有が必要か。

②①地域との連携は良好

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	114	90.5%	85	92.4%	29	85.3%
いいえ	12	9.5%	7	7.6%	5	14.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



《連携良好…小学校》

【理由】	・稲作収穫等、地域との交流がある（3）
	・地域で育む学校支援ボランティア、交通安全ボランティアがいる（3）
	・各地区行事にPTAが積極的に参加している（6）
	・読み聞かせ、交通立番、防犯パトロール等多くの地域の方に協力頂いている（10）
	・運動会、奉仕作業、公民館行事、文化祭、通学路の除雪等様々な行事の相互参加（15）
	・公民館と併設の学校の為、地域の方と顔を合わす機会が多い
	・学校主体で「つながり隊」（シニアボランティアが主）を結成し地域連携に努めている
	・校区が農村部の小規模校で、地域との密着が高い
	・今まで通りの関わり方をそのまま引き継いでいる
	・PTA会報を地域全戸配布し、情報発信（3）
	・学校地域戦略会議にPTA役員も出席し、公民館代表と意見交換
	・公民館の方々が地域の子どもの育成に積極的である
	・学校運営協議会制度により学校の運営に保護者や地域住民の声が活かされている
【課題】	・地区町づくり協議会と連携して活動していて、自治会との関係も良好
	・青少年育成団体との連携やそもそもの地域性（2）
	・年に1回、PTA主催のイベントを行っており、地域の方にも参加頂いている（5）
	・働きに出ている保護者世代と地域の高齢世代との意見交換の場が限られている
	・ほとんど決まった顔ぶれ（30代、40代の保護者ももっと積極的に関わる）（3）
	・家庭数の減少、地域人口の減少や子ども、孫のない世帯の声が届きにくい
	・災害時に学校とPTAが地域の防災会と児童の安全確保ができるような訓練をする
	・各ボランティアの後継者がPTA会員に少ない
	・反対に関わりが多く負担（2）
	・保護者のさらなる協力、理解、地域への感謝
	・それぞれが多忙
	・地域から発信される協力がもっとあればよい
	・子どもの参加が少ない。中高年の参加増が必要
・連携・調整に時間を要する	
・自治会の数が多いため、連絡依頼が難しい	
・相互の参加協力はあるが、PTAが主体となっている行事はない	
・保護者の見守りが少ない	

《連携良好…中学校》

【理由】	・ふるさとづくり協議会への参加
	・特色ある中学校区推進委員会を立ち上げ、地域・小学校と連携
	・一園、一小学校、一中学校ということもあり、保護者・地域同士のつながりがもともと強い
	・学校評議員にPTA会長が加わり、地域代表と直接意見交換し、助言を取り込みやすくしている
	・学校運営方針の柱に地域貢献活動を掲げ、町行事への全員参加や週末の各地区行事に積極的に参加
	・資源回収の呼びかけ、運動会での敬老会接待、見守り隊の呼びかけ（4）
	・PTAへの理解が強く、奉仕作業などにおいても出席者が非常に多い（伝統的）
	・コミュニティスクール・町内有線放送による案内・連絡がある
	・PTA広報紙の校区全体配布で学校の様子を告知（3）
	・PTA役員が公民館等の地域活動の一員で定期的に情報交換
【課題】	・体育祭、文化祭への招待、学校評価委員会への参加等
	・初年度なのでまだ軌道に乗ってない
	・PTA活動に特化した地域連携の評価は頂きにくい
	・多数の他区行事で部活動等への影響が懸念される。少子化で子ども不在地区が生じ始めた
	・高齢化社会に対応した連携方法、手段の構築
	・生徒達の地域行事への積極的な参加
	・校区が広く地域の学校という認識は弱く、全ての公民館と良好な関係にあるわけではない
・「人権フェスタ」の内容のマンネリ化、ボランティアメンバーの固定化	
・卒業後の連携不足	
・参加PTA人数の確保と地域の方々の参加を増やす（2）	

《連携不足…小学校》

【理由】	・ 振興会として地域社会を巻き込んだ会ではあるが、参加者が限定されている
	・ 奉仕作業参加率が半数以下
	・ 地域が広い
	・ 地域行事への参加者が少ない
	・ 連携をする事業を実施していないため、分からない
	・ コミュニティースクールとの相互理解や協力等に課題
【課題】	・ 地域社会が興味を持ち、一体となった活動の場を提供する
	・ 中学校区との連携を密にする
	・ P T A活動に理解は頂いていると感じるので、今後は取り組んでいきたい
	・ 地域協働の学校づくりのために方向性をすり合わせ、共に進む体制づくり
	・ 地域の行事を把握し、PTA会員に周知していく必要あり

《連携不足…中学校》

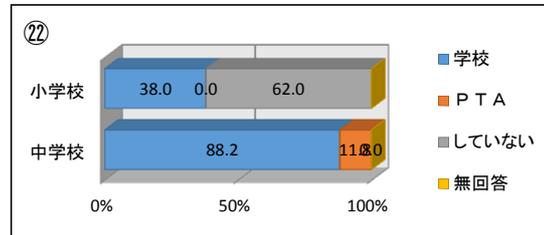
【理由】	・ 地域に財政的支援団体があるものの、会員が少なく十分な支援が得られていない
	・ 交通立番、放課後パトロールなどP T Aだけでなく他団体も行っているが、連携というところまで至っていない
	・ 多忙化にならないよう、単Pの活動は必要最小限にしている。良好な関係はあるので必要な場面では連携をお願いし、協力を得ている
	・ P T Aとしての繋がり不足。こちらの動きが無いため、小学校区でのバランスが悪い
	・ 各地域の風習の違い？
【課題】	・ 学校と地域のつながりを深め、支援の輪を広げること
	・ 活動時間帯をあわせたりするための調整する機会が持ちにくい
	・ もっと積極的な地域間交流
	・ 学校の動きに呼応して、保護者世代が地域に関わり情報発信のチャンスを持つ

※()内は同意見数

・90%のPTAが良好であるとの回答。
 ・全体的に東・中・西部とも地域と相互協力において良好な関係が築かれていることが分かった。中でも、小規模な学校や地域のほうが関わりが強く、子どもたちの育成に関心が高い様子がうかがえる。
 ・今後の課題として、地域の子どもたちを共に育てるという観点から、学校・PTA主導で地域と関わる機会を増やし、情報発信していくことが必要。

㉔キャリア教育(職場体験学習の受け入れ先確保の主体)

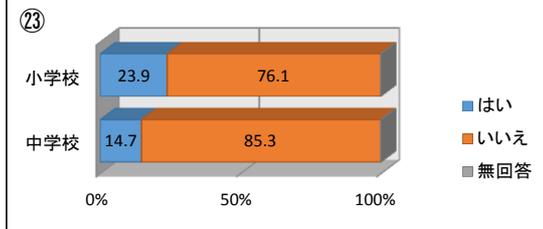
選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
学校	65	51.6%	35	38.0%	30	88.2%
P T A	4	3.2%	0	0.0%	4	11.8%
していない	57	45.2%	57	62.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



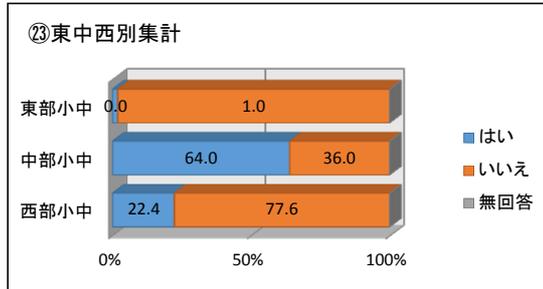
・ほぼ学校主体となっているが、小数のPTAではあるが独自に取り組んでいるところもある。職場体験の受入依頼に保護者も参画し、このことを通してふるさとのキャリア教育の現状や在り方、未来を子どもと一緒に考えていく契機としたいものだ。

②土曜授業を実施

選択項目	総数		小学校		中学校	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	27	21.4%	22	23.9%	5	14.7%
いいえ	99	78.6%	70	76.1%	29	85.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	126	100.0%	92	100.0%	34	100.0%



選択項目	東部小中		中部小中		西部小中	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
はい	1	1.9%	16	64.0%	11	22.4%
いいえ	51	98.1%	9	36.0%	38	77.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	52	100.0%	25	100.0%	49	100.0%



《実施している内容》

・ふるさと学習(地域の方との交流、地域の方から学ぶ活動)(倉吉市)
・地域と連携した体験活動、外部人材の協力を得た道徳や総合的な学習・学力補充(倉吉市)
・郷土を知り、地域の人とのかかわりをもつ学習(倉吉市)
・今年度3回(参観日2回、学級懇談)全て公開(湯梨浜町)
・通常授業(湯梨浜町)
・地域へのボランティア活動、地域の方々の触れ合い、児童主導の集会(南部町)
・同和、人権教育等(伯耆町)
・学校公開日、地域との交流行事(伯耆町)
・学力向上、地域の特色を生かした活動(日南町)

《実施していない理由》

・「必要としない」「市町村教委が検討中」との意見が多数
・主旨、目的の共通理解が校区小中・PTA・地域全体で定まっていない
・地域やスポ少で様々な体験活動をしている
・PTAとして要望は行っていない
・保護者や地域の共通理解が得られていないため
・各自の土曜日の活用が定着していることが一つの理由
・来年度より実施
・町教委が来年度実施に向けての協議を始めた

・実施している学校はまだまだ少ない。(PTAの事業ではないため積極的になれないとの意見あり)
 ・実施内容としても、参観日、講演会、学級懇談、体験活動が多い。少数ではあるが、通常授業を行っている学校もある。
 ・実施していない学校は、学校の方針であったり、市町村教育委員会の判断待ちであったりという回答が多かった。

※平成26年度の各単位PTAで開催された講演会についての報告は、当協議会ホームページ(<http://www.tottori-pta.net/>)に掲載。



鳥取県PTA協議会

TOTTORI PTA ASSOCIATION

鳥取県PTA協議会

鳥取県鳥取市扇町21番地

TEL: 0857-21-2285 FAX: 0857-21-0906

Email : tori-pta@gamma.ocn.ne.jp